

## 松江市におけるメディアに関する取り組み

資料 1-1

担当課	項目	令和7年度の取組状況	課題・今後の方向性
こども政策課	こどもの発達とメディア対策事業	○こどもの発達とメディア対策事業として「島根の子どもとメディア研究会」に委託し、専門講師派遣による市内幼児教育施設での講演会・研修会を実施している。令和7年度は7月末時点で3回の講演会及び研修会を実施しており、今後14回の実施を予定している。今年度は予定している25回の事業実施に達していないため、8月末に再度派遣希望を募っているところである。	来年度も引き続き、こどもの発達とメディア対策事業として「島根の子どもとメディア研究会」に委託し、専門講師派遣による市内幼児教育施設での講演会・研修会を実施する。これまで本事業の活用のない施設に活用を促していくことが重要であり、活用に向けたおたよりの配布等の広報活動を行うことで、松江市の幼児教育施設全体のメディアと子どもの育ち等に関する意識の向上を図っていく。
	望ましいメディア接触や親子のふれあいに関する情報提供および啓発	○松江市内幼児教育施設の職員向けの11月に実施する研修（内容：絵本と読み聞かせ）において、学校司書の方に乳幼児期の絵本の与える影響や絵本の読み聞かせが子どもの心の栄養や親子のふれあいに繋がること等についてお話をしていただく予定としている。	訪問指導や研修を通して、絵本の読み聞かせの重要性や親子のふれあいの大切さ、メディアとの上手なつきあい方等の啓発を進める。
こども家庭支援課	乳幼児健診等を活用した現状把握及び啓発	○集団乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児・3歳児）を活用し、必要に応じて保健師による個別相談を実施している。 【参考】3歳児が電子機器を「使う」と回答した保護者の割合 《H28》33.9% 《R2》42.0% 《R4》44.7% 《R5》47.7% 《R6》44.6%	引き続き、メディア接触状況に応じて個別に情報提供を行うとともに、より効果的な啓発方法について検討する。
	ブックスタート事業	○メディアとの付き合い方に関する啓発の一環として、健診時にチラシの配布やポスターの掲示等を行っている。 ○健診の待ち時間に親子で絵本に触れる機会を提供するため、健診会場内に絵本のコーナーを設置した。	引き続き、4か月児健診における絵本の読み聞かせ等を通じて、親子の触れ合いやコミュニケーションの大切さを周知啓発する。
	読書や子育てに関する情報発信	○4か月児健診の案内文と一緒に絵本との触れ合いについてチラシを同封している。また、健診時に絵本の読み聞かせ体験と絵本の配布を行い、スマホではなく絵本に触れながら親子の時間を過ごすことを啓発している。 ○健診時の配布チラシに「スマホに子守をさせないで」（日本小児科医会）や「絵本読み聞かせが脳へ与える影響」の情報を掲載している。	引き続き、様々なイベントやアプリ等を活用し、タイムリーな情報発信を継続する。
学校教育課	小学校でのメディア学習	○今年度も各学校から200時間近い希望があったが、学年合同授業にしていたくなどして、最終的に179時間に調整することができた。そのため今年度は希望された全ての学校学年にメディア学習を実施する予定である。すでに1学期には110時間を実施した。学校の希望が6月最終週から7月第2週に集中しておりメディア推進員の派遣が難しい日もあったが、推進員の日程を調整したり、第2希望の日に調整したりするなどした。（昨年度は学校からの実施希望229時間に対し197時間の実施）	学校に依頼して学年合同で授業を行った場合もあるが、当初から合同で希望された場合もある。しかし、児童の実態を見ると合同よりは学級単位が有効な場合もあると考えるので、日程調整の段階で担任としっかりと打ち合わせをすることも必要だと考える。 こどもを取り巻くメディアに関する環境は日々進化し、新しい課題が生まれている。従来の教材を見直し、メディア学習のあり方を検討したい。
	児童生徒の状況及び学校の取組状況の調査	○7月～8月にかけ「メディアに関する情報交換シート」による調査（資料2-2）を行った。取りまとめた結果を各校に配布し課題等の共有を図る。今後メディアに関する取組状況調査により、児童生徒の状況、学校の取組状況を調査する。	1月には「メディアに関する取組状況調査」を行う。「メディアに関する情報交換シート」と共に、児童・生徒の状況や学校の取組状況を把握し、各取組の参考にしたいと考えている。
	GIGAワークブックの活用	○現在GIGAワークブックについてはどの学校からも閲覧できるように、クラウド内に保存している。	利活用を推進するためにも、2学期以降、管理職会や文書で各学校に、内容や活用方法を紹介していく。
事務局	メディア教育研修会・講演会	○今年度も今度氏を講師として、教職員研修会、保護者向け講演会を行った。デジタルシティズンシップ教育についての理解を深めるうえで有効であった。さらに今年度は教職員研修会はワークショップ形式で行った。研修後のアンケートによると研修内容を児童生徒にも実践したいという声もあり、全体的に高評価であった。また教職員研修会参加者に学校内での研修内容の周知を依頼した。	参加者の評価は事後アンケートより「非常に参考になった」「参考になった」という意見が占めた。参加者の感想からも評価は高かったと感じている。特に生成AIに関する事や子どもが機嫌よくゲームをやめる方法についての感想が多く、関心の高さを感じた。
	スマホサミット	○昨年度実施した湖東中学校で今年度も継続してスマホサミットを実施している。	今年度も各校にこの取り組みの意義を伝えていく。一方で、よりこの取組に広がりができるよう、あり方の検討を進めていく。

